

「地域の持続可能性の危機と地域福祉実践・研究の課題と展望」

—コロナ禍を超えて—

この3年余りのコロナ禍は、対面による地域福祉活動が長く休止せざるを得ないなど、地域におけるソーシャルサポートの機能に大きな負荷を与えた。また、出生数の大幅な減少など、地域社会の将来への持続可能性の危機を高めている。

このような大きな社会環境の変化にあって、今後の地域福祉の実践と研究は、いかにあるべきか。今、地域の置かれた状況を分析しつつ、中・長期的な視点と展望に立ち、効果的な施策と実践、またあるべき方向を探る研究のあり方が問われている。

本シンポジウムでは、長く地域福祉の実践と研究に携わってきた本研究所の各論者によって、今後の地域福祉実践・研究の課題と展望に関する論点を提起し、参加者とともに、その視点、課題と取り組みの方向性を探る機会としたい。

■ 日時：2023 年 5 月 20 日（土）14:00-17:00

(13:45～開場及び ZOOM アクセス開始)

※対面と ZOOM によるオンラインを併用して開催

■ 会場：大正大学 5 号館 553 教室

■ 参加費：所員 2,000 円、一般（非所員）3,000 円、学生・院生 1,000 円

■ 定員：150 名（申し込み先着順）

【申し込み方法・締切】

以下のアドレスのフォームか QR コード、またはメールよりお申し込みください。

申し込みフォーム：<https://forms.gle/oJppCgVSDqXCdF5f9>



締切：2023 年 5 月 17 日（水） 【先着順】

